

在宅医、訪問看護師、ケアマネージャー、ヘルパーの皆様へ



おくすりスッキリ運動実施中



こんな患者（利用者）さん、いませんか？

- ✓ 残薬が多い
- ✓ 重複・多剤投薬
- ✓ 副作用・相互作用
- ✓ 飲み忘れが多い
- ✓ 自己調整している



「おくすりスッキリ相談書」
で解決しましょう

奈良県薬務課・奈良県薬剤師会のホームページからダウンロードできます
相談書を使わず、電話での相談でもOK

患者（利用者）さんの
同意を得る

薬袋に記載の薬局に
「おくすりスッキリ相談書」
をFAX



【目的】

地域包括ケアシステムに関わる多職種が連携し、薬物療法を必要とする全ての在宅患者が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会を実現することを目的とします。

具体的には、患者の飲み残し等をきっかけに、薬剤師が多職種からの情報を元に患者の状態に応じた適切な対応をし、適切な薬物治療を提供します。

薬局薬剤師が、状況により

- ・情報提供者に聞き取り
- ・患者宅へ訪問



在宅患者訪問薬剤管理指導料（調剤）
居宅療養管理指導（介護）

※注

処方医と連携して理由別に対応

- 処方変更
- 処方日数の調整
- 服薬回数の少ない薬へ変更
- 飲みやすい剤型へ変更
- 一包化
- 服薬カレンダーの活用
- 残薬の整理

在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料（調剤）
重複投薬・相互作用等防止加算（調剤）
外来服薬支援料（調剤）
服用薬剤調整支援料（調剤）
一包化加算（調剤）
薬剤総合評価調整管理料（医科）
連携管理加算（医科）

※注

対応結果を情報提供者及び処方医へ報告

※注（調剤）：調剤報酬、（介護）：介護報酬、（医科）：医科診療報酬 この取組で加算の可能性がある報酬について記載しています。報酬には、地方厚生局への届出、文書作成、医師の指示等諸条件があります。詳細については、各関係機関にご確認下さい。

奈良県・（一社）奈良県薬剤師会